

浄土真宗本願寺派
西光寺寺報

「前任職三回忌を勤めました」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますますご清祥にお念仏ご相続のこととお慶び申し上げます。今年もお付き合いのお寺の報恩講もすべて終わり、ご門徒さまのお家の報恩講もずいぶん終わりました。



16日お逮夜と法要にお参りのみなさん

10月16日の報恩講の

お逮夜に引き続き、前任職の三回忌と前坊守の三十三回忌を勤めさせていただきました。ご門徒の皆さまにはた

くさんのお参り、報恩講へのお蠟燭代、法要への御仏前を頂戴しまして、誠に有り難うございました。報恩講・法要にかかる経費として大切に使用させていただきました。

「タマが往生いたしました」

前号でもお伝えしましたが、腎不全を患っていた西光寺の猫『タマ』が11月22日に19歳を一期として往生させていただきました。私もそうですが、母親のふとんで一緒に寝ていたので、相棒のいなくなった母親がとても寂しがつています。私も障子やふすまを閉めるときについ10cmほど開けてしまいます。



2009年の坊守とタマ

御正忌にお参りください。
23日（金） 昼2時・夜7時

現在の日本は、15歳以下の子供の数より犬猫などのペットの方が多いというところでもない時代になっています。まあ私もその一因ではあるのですが。でも、また飼うことはないでしょう。だって、次の猫がまた長生きしたら、こんどは私の方が先に往生するかもしれないから、こんどは私の方が先に往生するかもしれないからね（笑）。

「御正忌が厳修されます」

日	14時〜	19時〜
23日（金）	逮夜 正信偈草譜 御伝鈔拝読 法話二席	初夜 正信偈行譜 御伝鈔拝読 法話一席

福井市教應寺住職
本願寺布教使

奥田 順誓師です。

ご法話
本願寺では1月9日〜16日に御正忌報恩講としてつとまりますが、西光寺ではいつも年内に御正忌としてつとめております。昔はうちでも『お七夜』と呼んでいました。蓮如上

人の書かれた『御俗姓』にも「一七ヶ日報恩講中において」という部分がありますが、本来はどのお寺でも御正忌報恩講として七日七晩つとめていたのだと思います。このあたりでは報恩講と御正忌を分けておつとめするお寺が多いです。

これまで、『御伝鈔』（親鸞聖人の伝記）は夜にお勤めしていましたが、お昼にしかお参りできないご門徒さんもおられるので、今年は半分ずつに分けてお昼にも拝読させていただきたいと思えます。また、今年も昼夜ともに温かいぜんざいがふるまわれます。例年より遅い23日ですが、休日でもありますのでたくさんのお参りをお待ちしております。

「伝灯奉告法要にお参りしよう」

宗祖・親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」が、聖人から数えて第25代となる専如ご門主に伝えられたことを仏祖の御前に告げられる、伝灯奉告法要が京都西本願寺においてつとめられています。阪北組では来年の3月8日（水）に日帰りでの団体参拝を企画しています。実は前回もあつたのですが、寺報に書いただけのためか参加希望が少なかったため、今回は募集要項を同封しました。私ももちろん参加しますのでご一緒しましょう！**帰敬式**（おかみそり）も受けることができます。法名は本来、生きているときに

いただくものですので、まだの方はなおさら行きましよう！私なんかがお葬式のときにおかみそりするんじゃないかと、ご門主直々に剃刀をあてていただけるのですからね。この機会を逃すのはもったいないですよ。また、本願寺は世界遺産でもありますし、行ってみれば、400年前にあのような壮大な木造建築がなされたという事実が驚愕するばかりです。また、先年の親鸞聖人750回大遠忌のときにご門徒の皆さまからの御寄進で修復した御影堂の屋根や内陣なども見ていただけると有り難いです。観光気分でのご参加でも何の問題もありませんので。

『次号にはPR号を同封します』

早いものでもう師走です。すぐにお正月が来ますね。いつもの寺報のお正月号のときに、PR号をつけることにしました。ご門徒さんが経営していらっしゃるお店の宣伝です。お正月の新聞にはよくありますよね。もちろん広告料なんかありません。まあ宣伝効果もないとは思いますが、「ああ、あのお店も西光寺の門徒さんだったのか！」と知っていただけでもいいと思います。どこでもいいなら、「せっかくなら西光寺の門徒さんのお店に行こうか」と思っていただけとなおうれしいです。今月中に郵送でも電話でも、お参りした時でもいいので、お店のロゴや書いてほしい情報などを教えてください。ご門徒

さんの経営でなくてもお勤めのお店とかでも結構ですよ。紙面が埋まらないと寂しいので、ぜひぜひご協力ください。

『ブログもなんとか更新中です』

前号でもお伝えした西光寺のブログ『西光寺で最高時！』ですが、ときどきですが更新してまだ続いております。読者は3名（うち2名がご門徒さまで1名は妹です）なので、ネット環境のある方はぜひ読者になつてください。私の更新の励みになります。ただ、たいしたことは書いていないので、それだけは期待しないでください。すみません。

しかし、今年は報恩講やお参りの日時を約束したのに間違えることが多く、ご門徒さまにはたいへんご迷惑をおかけしました。今後はこのようなことがないように十分気をつけるつもりです。

では、御正忌でお会いしましょう！

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず私の携帯に電話下さい。出なければ留守電に入れてください。こちらからご連絡いたします。

住職 内嶋淳浩（うちじま あつひろ）
090-8967-7902
メールアドレス
soichiro4989@gmail.com

※携帯電話に登録しましょう！